

第1回 中心市街地市民意見聴取会

- 日時：平成21年9月6日（日） 午後1時30分から午後4時15分
- 場所：松阪市産業振興センター3F（松阪市本町2176番地）
- アドバイザー：芹澤高斉氏（三重中京大学准教授）
岩田俊二氏（三重短期大学教授）
中谷 泰氏（中心市街地商業活性化アドバイザー）
- 松阪市：山中市長、稲垣建設部長、村田商工観光部長、中山まちづくり統括担当参事、
牧戸文化担当参事、長野中心市街地活性化室長
- 松阪商工会議所：高畑専務理事
- 参加者：128名

1. 開 会

- 意見聴取会の趣旨について：中山統括担当参事

中心市街地というのは政治、経済、文化などさまざまな機能が集まり、人々の生活や交流の場になっていた所です。

また、長い歴史の中で独自の産業や文化、伝統などその街の活力や個性を代表する街の顔として栄えてきた所でもあります。

本日の意見聴取会では、改めて松阪市全体のまちづくりを考えながら、松阪市を中心とした中心市街地の整備を行うために、専門家や市民の皆さまからご意見をいただき、共に考えていきたいと思っております。

2. 松阪のまちづくりについて

- 「山中市長が考える松阪のまちづくり」：山中市長

皆様こんにちは。第1回意見聴取会に参加いただきましたことを感謝いたします。

現在、松阪市には、公共交通の問題、耐震の問題、都市計画の問題など様々な問題があります。

この意見聴取会では、市民の皆様の意見を聞かせていただき、皆様の意見とともに行政の方向性を決めていく、これが意見聴取会の意義であると考えています。

行政としては様々な決断をして議会に諮って政策を決定してまいります。この結果を議会と行政が市民の皆様に説明責任を果たすことが行政のあり方だと考えています。

中心市街地活性化に対することや駅西再開発、また、都市計画決定のことに対しても様々な意見があると思っております。

何かの決断をすれば、ある方は満足、ある方は不満と思われることもあり、全ての皆様の満足をかねえることが行政の役割ではなく、不満の方にはしっかりと説明し、皆様と一

緒に考え、合意を得ていく、このようなスタンスでまちづくりを進めていきたいと思っています。

この意見聴取会を通じて、皆様の意見を聞かせていただき、可能な限り、今年度中に松阪市としてのまちづくりのあり方について、最低限のハード面、ソフト面のビジョンを打ち立てていきたい。そのように考えております。

実施する事業については、財政上の制約もあり、今の時代に必要なもの、次の時代に必要になるもの、次の世代に残していきたいもの、それぞれに優先順位をつけて、まちづくりを進めていきたいと思っています。

行政側の取り組みとしては、縦割り行政を改め、歴史文化、商工観光、建設の各部局のまちづくり施策を統括調整する担当参事を置くなど、一体的な取り組みが出来るように組織改革を実施しました。

また、地域のまちづくりに対しては、地域のまちづくり協議会に予算と権限をゆだねることによって、2年以内を目途に地域づくりは地域にまかせていくという方向性を松阪市としてはもっております。

皆様方には今後のまちづくりに対して行政とともに責任をもってもらいたい。

皆様と行政が責任をもってまちづくりを考えていき、誇りをもって次の世代にこの松阪市を残していきたいと思っています。

まずは、松阪市のまちづくりのあり方について、皆様の粹のないご意見を謙虚に聞かせていただきたいと思います。

3. 中心市街地の現状と取り組み

■「中心市街地の現状と取り組みの説明」：長野室長

- ①中心市街地整備の経緯
- ②中心市街地の現状
- ③中心市街地の課題
- ④今、市が取り組もうとしていること

(別紙資料参照)

4. 意見聴取

テーマ：松阪駅を中心とするまちづくり

[座長]：芹澤高斉氏（三重中京大学准教授）

■（主な内容）

司会者 松阪駅を中心とするまちづくりに対する意見聴取を始めたいと思います。

座長 本日は松阪駅を中心としたまちづくりについて意見を述べていただきたいと思います。

これから話をしていく中で3つほど重視しておくほうが良いと思う点があります。

1つ目は、松阪駅を中心とするまちづくりですが、松阪市全体のことを考えた松阪駅中心のまちづくりとする。

2つ目は、子供や孫、まだ生まれてきていない後の世代のことを考えていくべきだと思う。

3つ目は、まちづくりという意味では、市民の方々の参加や協力が重要になってくる。

この3点を念頭においてご意見をいただけるとありがたいと思います。

前半では、松阪駅を中心としたまちづくり、そして、駅周辺をどんな方向で考えていけば良いかについて、大きな視点で話し合っていきたいと思います。

後半では、具体的な施策について、こんなことを期待しているとか、このような活動をしているとか、何か駅周辺の発展なり活性化に対する具体的な方策についてご意見をいただきたいと思います。

*（都市計画の専門家、岩田俊二氏の自己紹介）

*（商業の専門家、中谷泰氏の自己紹介）

座長 今回は、松阪市全体のことを考えた、駅周辺のことについて考えていくので、皆さんには、どちらから来たのか聞いてみたいと思います。

⇒本庁管内多数、三雲館内4名、飯南管内1名、飯高管内1名、市外4名

やはり、中心市街地の方から集っていただいた方々が多い。

この松阪駅周辺の中心市街地の取り組みについて知っていますか。

⇒知っている。が半数以上

比較的多くの方に、市がこの取り組みを行っていることを理解してもらっている。

この取り組みについて意見や感じるころがあれば言ってもらいたい。

参加者 中心市街地の開発はしないほうがいいのではないか。というような意見が多いと思う。

郊外に大型スーパーが出来ており、中心市街地に客は戻ってこないのではないかと思う。

税金を投入して整備しても中心市街地は活性化しないのではないかと思う。

駅西地区市街地再開発は白紙にされ、裁判で争っており、民間会社は調査測量設計にお金を使っているのに、その費用は、1年以上、契約しないで計画を引っ張ってきた市が払う義務があるのではないか。私は、このような活性化のプロジェクトはあまり効果がないのではないかと感じる。

参加者 駅前のまちについては、郊外の大型店舗に出かける人が多く中心市街地は廃れていると感じる。また、活性化はしないと思う。

あまりにも多岐多様で総花的議論がなされており、実現性が感じられない。

これまでの活性化の検討会では漠然とした議論がなされてきており、これからはもう少し的を絞って検討していただきたいと思います。

安心して住めるまち、松阪に訪れた人が楽しめるまちにしたい。
何か大きな建物を建てたり、大きな店舗を作ったりするのではなく、今の資源を活かして安い投資で最大の効果が得られるものをするべきであると思います。
市長が言われた「魅力ある田舎町」を目指していくべきであると考えます。

座長 松阪駅周辺について聞いていきたいと思います。

松阪駅周辺が松阪の中心というイメージを持たれている方は？

⇒○：多数、×：11名

比較的○の人が多いが、想像している以上に×の方が多いと感じました。

旧松阪市から来た人が多いですか？

⇒○：多数

旧松阪市から来られた方が多いので、松阪駅周辺が松阪の中心と答える方がもっと多いと思っていました。

参加者 なぜ、松阪の中心がなぜ松阪駅なのか？そのコンセプトというかその意義についてお聞かせいただきたいと思います。

松阪全体を考えた場合、松阪駅周辺だけでもいいのか？

全体を考えた中で駅前の開発と他の地域との繋がり。これは、松阪をどういうふうにするのか？観光都市にしたいのか、商業都市にしたいのか、そのコンセプトを聞かせていただきたい。

市長 県外や他の地域の人から見ると、松阪に来る際には駅周辺が玄関口となる。

松阪駅前に対して、歴史や文化を感じさせる、または地域の観光を誘導させるために松阪駅周辺を活性化させるのは必要不可欠だと思う。

松阪駅は公共交通機関の中心という位置づけでもあると思う。

一方で松阪市民にとって松阪駅周辺だけが中心になるとは思えない。他の地域やエリアも中心になると考えられる。

座長 松阪駅周辺は現在、市の中でどんな役割をはたしているのか？

交通の玄関口であるとか。市役所があり行政の中心地であるなど以外に何かありますか？

⇒意見なし

松阪市のまちづくりを進めていくうえで、松阪駅を中心とした積極的なまちづくりが必要であると考える人は？

⇒○多数、×11人

必要であると考えた方で、こういう理由で必要だというご意見があれば？

参加者 通勤圏は中川駅に移っており、松阪駅は中心でなくなっている。

松阪には文化や歴史があり、交通の便もよく、人が集まる「魅力あるまち」にしていきたい。

参加者 この討議はちょっと乱暴すぎると思う。

この市街地がどんな役割をするのか。市街地整備や活性化を考える前に、市街地の活性化の目的は何であるかを考えることが大事ではないかと思います。

また、住んでいる人だけが良かったというのではなく、他の地区からどれだけの人を呼べるのかが大事と思う？

または、他の地域でどれだけの役割を松阪が発揮できるのか？

市街地の狙いや目的をどのようにもつのか？これを皆さんでコンセンサスを得ることが重要であると思います。

座長 この意見聴取会で○×の多数決で何かを決めるのではなく、皆様のご意見を伺う参考としてお聞きしています。出来るだけ多数の皆様のご意見をお聞きしたいと考えています。

座長 中心市街地という言葉がありますが、この言葉にはいろんな意味があると思う。中心市街地とはどのようなことか簡潔にアドバイザーに説明していただきたいと思います。

中谷 中心市街地というのは基本的には、歴史文化の面からもその地域の中心地として発展してきたところであり、松阪市の場合には国の施策を中心として動いており、国の施策を活用して地域を良くしていこうとしています。

中心市街地とは、商業の活性化や高齢者や子供たちが住みやすい環境などを支える公園や公共交通機関や公共施設が整備されているところである。

座長 松阪市の中心市街地といった場合に松阪駅を中心とした区域を考えたときに無理があるか無いか。中心地と考えて良いと思う場合は○、そうでない場合は×でお聞きしたいと思います。

⇒○多数、×8人

松阪駅周辺を松阪市の中心と考えて良いという意見が比較的多いですね。

次に、あまり現状に逆らって整備を行っても結果がでないのではないかという意見を予めいただいておりますが、あまり無理な開発をしないほうが良いと思う場合は○、そうでないと思う場合は×でお聞きしたいと思います。

⇒○、×：それぞれ半々ぐらい。

松阪駅周辺を中心市街地と呼ぶならば、そのまちづくりを今後どのようにしていけばいいのか？意見があればお聞きしたいと思います。

参加者 松阪駅前の再開発について、市役所の耐震補強の問題やベルタウンの耐用年数の問題などがあり、あえていないものを無くす必要はないが、耐用年数が近づいているものを建て替えるのではなくて、例えば市役所などをベルタウンにもっていく。2階は商業施設にして、3階以降は行政の方で使って、行政に出入りする人が商店街で買い物ができるようにする。

今の市役所は観光施設や医療施設の駐車場などに活用してはどうか。

箱物行政というのは過去のものと言われていますが、最低限必要なものは整備し

ていく必要があると思います。

- 市長 市役所庁舎の建替えについては、庁舎耐震の意見聴取会で、基本的に当分の間、建替えしないで、耐震補強で対応する方向で進めています。
- 参加者 接待の心やおもてなしの心などにもっと取り組んでいき、本当に松阪に足りないものは何なのか？駅前が何の役割をはたすべきなのか？を考えていくべき。
- 参加者 松阪のまちには、おもてなしの心が大事であり、市の方で、何が足りないのか、何が不足しているのか。この部分を検証して取り組んでいただきたいと思います。
- 参加者 みんなで考えて楽しい街をみんなで手をかけてつくっていききたい。
- 参加者 これをして本当に他所から人がきてくれるのか？
もっと目玉はないのか？
もう少し目玉を考えないと人はこないと思う。
- 参加者 松阪には祇園祭等の駅前を中心として人がたくさん集まるイベントがある。
しかし、それだけではいけないので、それに付随して他にも駅前に人が集まりたくなる、行くと楽しい、買い物や食事もできる、イベントもあるなど相乗効果が出るまちづくりをしていくことが大事。
これらをコンセプトに具体的に店舗を改装したり、ベルタウンをもう少し考えていくべき。
- 参加者 駅前の施設で成功しているのは、「津のアスト」であると思います。その駅前にはホテル、商業施設、総合施設もある。
松阪駅前では、高層ビルを建てて、ホテル、演奏会、福祉施設、商業施設などを入れてほしい。特に低層階には福祉施設を入れていただきたい。
殿町にある福祉会館、これは耐震性も問題もあり良くない。高齢者が集まるのに一番問題になるのがアクセスだと思うので、駅前は立地場所として最適だと考える。
- 座長 意見をまとめれば、高齢者に優しいまちづくりを考えると、駅前に高層ビルを建てて、そういった人が集まれるような場所をつくるのが大切ということですね。
- 参加者 ドーナツ状に郊外にスーパーができ、他の所から松阪へ来た人は、その周辺に団地を作ってそこに住んで、日用品など何でもすぐに揃うようになっている。
今は、そこが、中心地や市街地だと思う。
駅は学生と通勤者の乗り換え場所。
消費人口を増やしても、みんなドーナツ状の方へ移動してしまう。
松阪の駅前は人が集まっても、ほとんど何もない状態。
人を集められる中心となるものをつくらないといけない。
中心に何かがないと、ただの通勤や乗り継ぎや通学の場所ではない。
シャッターの閉まった店が60あった。
真剣に考えていかないといけない。

現状としてはドーナツ状になっている。

そういった商業施設がある所が中心地にとらえられる現状がある。

駅周辺を見ると、シャッターの閉まった所が多くみられる。

だから松阪駅周辺には人を集める何かをつくるべきだと思う。

座長 松阪駅を中心として活性化させるとすれば、何か目玉をつくるとしたら何をつくればよいと思いますか。ご意見をお聞きます。

参加者 市役所を駅西地区に新しく建設すれば良いと思う。
すぐではなくて20年後などでもいいので、計画を立ててつくってあげれば良いと思う。

個人的な意見であるが、三交百貨店に代わる商業施設があれば良いと思う。

座長 商業施設の話が出たが、過去のアンケートを見ても、中心市街地を活性化させるためには、やはり商業施設の要望が非常に多い。

商業施設がまちの活性化のためには必要だと考える人は？

⇒○多数、×6人

座長 商業施設といっても、食事をする場所とか色々あるが、総合的な施設と考えて良いか？

参加者 市民の方が利用できる総合施設と考えている。

座長 他の目玉は商業施設で何かありますか？

参加者 歩いて楽しんで便利にすごせる生活圏と言うことで出来たら良いと思っている。
しかし現状は駅前にそういった施設がないし、これから何十年かけてつくっていくのも大変なので、現在あるものを使って何とかつくってあげたらと思う。
例えば、カリヨンビル3Fには市民活動センター、1F、2Fの空き店舗へアンテナショップを入れるとか、行政サービスを入れるとか、有効に利用してはどうかと思います。

参加者 楽しめる施設をつくりたいのでテーマパークをつくってみたい。
ディズニーランドまでは言わないが、人が楽しめてお金を落としていただけの施設を創ってもらいたい。

東京へ行って銭湯を利用したときに感じた憩いの場があれば良いと思った。

お酒を飲んだり、食事をしたり、買い物したりすることができる松阪に合ったテーマパークをつくってほしい。

参加者 お年寄りが安心して生活ができるように直すのも1つではないか？

コンパクトシティの考え方を導入してはどうか。

座長 コンパクトシティの用語が出ましたが、これについて岩田先生にアドバイスをお願いしたいと思います。

岩田 コンパクトシティ論は近年の都市計画行政の政策であり、まちづくりの一つの方向であるが、それが全てではない。中心市街地活性化等を行政施策に乗って行っ

ていても政権も交代し、国の施策はどうなるかわからない。行政施策としてではなく、地元の人々の自主的な判断、取り組みが重要である。中心市街地活性化イコール商業活性化と見なされることが多いが、商業活性化という面だけでなく、まちづくり、人の居住についてもあわせて考えていく必要がある。

施設整備面もあるが、松阪の個性であるおもてなしの心、こうした個性を大事にすべきと思います。イタリアのボローニャは歴史的市街地の保全再生で有名だが、単に歴史的市街地の保存ではなく、旧市街地を「人を守り、社会を再生する」のテーマで再開発した。不良住宅の人々には市営住宅を旧市街地内に整備し、郊外への流失を防いだ。

座長 用語などにとられることなく、松阪らしいまちづくりということ。
それに対して意見はないか。

参加者 松阪駅を降りて、北口、南口という看板があるが、どっちが北口か南口か、さっぱりわからない。親切なことができてない。
人にやさしいまちになっていない。やさしいまちになれば人は集まる。
本当に人に集まってほしいなら、そういったことをきちんとしないといけないと思う。

参加者 特別に何かを創るのではなく、今あるもので創っていけば良いと思う。
例えば、道路を一方通行にして歩きやすくする。車道だけではなく歩道を作ったりするなど人に優しいものをつくっていくべき。
商業施設をつくるのに反対したのは、施設をつくっても人が来ないと意味がないと思っているから。

参加者 いろいろ意見はでていますが、私たちが子供たちに自信を持って譲れる街を、住む町をつくっていかないといけないと思う。
そして、高校や大学に出ている子供たちを呼び戻して、また孫たちもこの町に住めるようにし、人口を増やしていくべき。

参加者 まちづくりについて、具体論として、今日の会議についてもう少し考えてもらいたい。
たくさんの方が集まってもらっても1人1人の意見が吸い上げられる会にしてほしい。

座長 限られた時間の中で1人1人の意見を聞くのは難しいので、アンケートの裏に自由意見欄があるので、そこに意見を述べる事が出来なかった方や、さらに意見がある方は、ぜひ、書いていただきたいと思います。
最初に松阪駅周辺、または中心市街地に関しては、いろいろ意見をいただいて比較的良かったと思う。
いろいろな方向性があるにしろ、中心地をなんとかしようという意見が多く出されました。

他の意見は次回以降の会議で聞いていきたいと思います。

座長 松阪市全体のことを考えて、駅を中心とした市街地整備や活性化は重要だとお考えですか？

⇒○：多数、×：数名

駅周辺の市街地整備は必要であるとお考えの方が多数ですね。

座長 中心市街地の整備に市は積極的に進めるべきだと思いますか？

⇒○：多数、×：数名

座長 市の取り組みについて、公的資金を使って市が投資することについてはいかがですか？（駅ビル建設などには限定しません）

⇒○：多数、× 3名

ある程度の公的資金の投資は必要であるとお考えの方が多数ですね。

座長 最後に今までの議論を通じて、松阪市のまちづくりについてご意見ある方はありますか。

参加者 今後の会議もテーマはこのテーマになるのか？

座長 次回も同じテーマで進める予定です。

参会者 このテーマで集って中心市街地の話をしたら、賛成か反対かを言えば今日のような結果になるのはわかっていたはず。

このテーマだとそういったことも固まってくるし、松阪全体しかも市町村合併後の話なので、答えにくかった。

座長 市民のみなさんからの意見はこれぐらいにして、アドバイザーの先生から今日の意見聴取会をとおしてご意見をいただきたいと思います。

中谷 ここに集っていただいている方は、非常に意識の高い方々で、前向きな意見が聞けて良かったと思う。

やはりいろんな意見の人たちがいるが、今日の意見を聞いて頼もしく思った。

市長と話し、歴史的文化などはもっと皆さんの意見を取り入れていくと良いと思いました。

岩田 先にお話したイタリアのポローニャでも実は旧市街地の周りに新市街地が広大に出来ているが、市民達は、旧市街地を良くしたいと考えたのです。それは、ポローニャという都市国家への愛着もあるし、戦後の民主的な街づくりへの思想的な背景もあって、街への思いが強いからだと思います。アイデンティティーを持って松阪らしい市街地整備の方向に意見がまとまることを期待いたします。

なお、この会の最初に市から説明された中心市街地活性化の整備計画が本当に必要とされる課題にほとんど回答していないという意味で貧困であると思いますので、今後、皆さんの意思でさらに充実することが課題であると思います。

市長 今回の1回目の会議に関しては、できるだけ中心市街地に対しての、皆さんのご意見を確認させていただきたかった。特に、松阪駅を中心とした市街地整備や活

性化は本当に必要なのか。また、その整備に公的資金を使うことにどう考えられているのか。この点を本日の意見聴取会で確認したかったので、あえて、市から具体的な案を提示した説明は控えさせていただきました。

次回の2回目からは、中心市街地に対する具体案を、皆さんの意見を聞いて検討していきたいと考えています。

具体的には松阪市は市街地整備に何をするか？を考える会にしたいと思っています。10月24日の第2回意見聴取会には多数お集まり下さい。

座長 駅を中心として市街地整備に行政が取り組むこと、公的資金を投資すること。これに対する方向が見えてきたと思っています。

ご意見を発言することができなかつた方、また、ご意見がある方、アンケートにご記入し、ご提出くださいますようお願いいたします。

本日はありがとうございました。

5. 閉 会

司会者 次回2回目は、10月24日（土）午後1時30分から、場所はここと同じ産業振興センターで開催します。

本日は長時間にも関わらず皆さんに集っていただき、大変ありがとうございました。

それでは、本日の意見聴取会を終了いたします。

以上